# 平成22年度 国土交通省関係補正予算の概要

平成22年10月

国 土 交 通 省

## 平成22年度補正予算のポイント

## I 円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策

1. 新成長戦略の推進・加速

国費

183億円

(1) グリーン・イノベーションの推進

① 住宅エコポイントの対象拡充

10億円

(他に経済産業省、環境省計上分 20億円がある)

② 公共交通等のグリーン化

77億円

③ グリーン投資の促進

94億円

(2)アジア経済戦略の推進

○ インフラ/システム海外展開支援

2億円

#### 2. 地域活性化、社会資本整備、中小企業対策等

国 費 4,674億円

#### (1) 地域活性化

① 耐震化等による安心・安全な居住・生活環境の整備

995億円

- ・住宅耐震化の加速等 160億円※
- ・生活に密接に関わる施設の耐震化の推進等(社会資本整備給交付金を活用)
- ・国民生活の安心につながる防災対策等の推進 834億円※
- ・市街地再開発及び地籍整備の促進 1億円※

② 成長分野としての農林業の育成支援

101億円

- ・森林・林業再生の推進等 101億円
- ③ 魅力ある観光地づくりの推進と国内旅行の活性化

13億円

- ・国内観光活性化のための滞在型観光の加速化等 8億円
- ・外国人観光客のための言語バリアフリー化の加速等 5億円

#### (2) 社会資本整備

○ 地域の元気復活に資するインフラ整備

3,434億円

- ・国土ミッシングリンクの解消など地域連携の推進等 1,296億円※
- ・都市鉄道整備事業等の推進 208億円
- ・国際コンテナ戦略港湾のハブ機能の強化等 47億円※
- ・首都圏空港の強化等 29億円
- ・社会資本整備総合交付金の追加 1.854億円

#### (3)中小企業対策

○ 資金繰り支援(建設業関係)

36億円

○ 新規の事業活動への支援(建設業関係)

11億円

(4) その他

○ 海上保安体制の充実

84億円

### 補正予算追加額計

国 費 4,858億円

〇公共事業の契約の前倒し(ゼロ国債) 事業費 2,052億円

(限度額 2,029億円)

## Ⅱ その他

○ 海上保安官署の施設整備

1 億円

## <u>補正予算追加再計</u>

国 費 4

<u>4,859億円</u>

(注1) 「※」印を付した施策については、他に社会資本整備総合交付金を活用。

(注2) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しない。

## 平成22年度国土交通省関係補正予算 事業費·国費総括表

(単位:百万円)

				:白万円)
区分	事業費	国費	ゼロ国債 (事業費)	備考
			(予不貞/	
【円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策】				
治山治水対策	48, 681	34, 944	51, 901	
治    水	47, 381	33, 644	49, 861	
海岸	1, 300	1, 300	2, 040	
道 路 整 備	173, 965	125, 419	114, 473	
港湾空港鉄道等整備	56, 769	29, 054	22, 351	
港湾整備	7, 460	4, 702	19, 850	
空 港 整 備	3, 039	2, 855	2, 501	
都市・幹線鉄道整備	26, 073	7, 800	0	
新幹線鉄道整備	19, 500	13, 000	0	
航路標識整備	697	697	0	
住宅都市環境整備	69, 726	30, 212	15, 081	
住 宅 対 策	63, 300	26, 000	1, 223	
都 市 環 境 整 備	6, 426	4, 212	13, 858	
市街地整備	0	0	0	
道 路 環 境 整 備	6, 426	4, 212	11, 721	
都市水環境整備	0	0	2, 137	
公園水道廃棄物処理等	0	0	1, 419	
下 水 道	0	0	0	
国 営 公 園 等	0	0	1, 419	
社会資本総合整備	336, 669	185, 448	0	
推進費等	0	0	0	
一般公共事業 計	685, 809	405, 077	205, 225	
災害復旧等	70, 050	47, 738	0	
<u>公共事業関係 計</u>	755, 859	452, 815	205, 225	
行 政 経 費	71, 177	32, 940	0	
<u></u> 計	827, 036	485, 755	205, 225	
【その他】				
その他施設費	114	114	0	
計	114	114	0	
	827, 150	485, 868	205, 225	
н	027, 100	₹00, 000	۷۵۵, ۷۷۵	

<sup>※</sup>計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しない。